

ホームページの掲載	
済	7月7日掲載予定

 学校名 岐阜県立中濃特別支援学校

校長 小栗 一宏
 学校住所 関市桐ヶ丘2丁目3番地 電話 0575-24-1773

- 1 会議の名称 岐阜県立中濃特別支援学校を支える会
- 2 会議の構成
- | | | |
|-------|-------|-------------------|
| 評議員 | 福島 房子 | (株)フクシマ化学 取締役 |
| | 宮本 覚道 | (社)関青年会議所 理事長 |
| | 植野 明 | 向山町長寿会 会長 |
| | 吉川 杉生 | 中部学院大学短期大学部 教授 |
| | 須甲しのぶ | 岐阜県立ひまわりの丘 第一学園次長 |
| 学校職員等 | 小栗 一宏 | 校長 |
| | 門屋 由美 | P T A会長 |
| | 仙名 幸樹 | 事務部長 |
| | 後藤 秀仁 | 教頭 |
| | 和田 喜孝 | 小学部主事 |
| | 高木 茂和 | 中学部主事 |
| | 高山 務 | 高等部主事 |
| | 河合 浩司 | 教務主任 |
| | 高井 恒雄 | 生徒指導主事 |
| | 横田 真 | 進路指導主事 |
-

- 3 会議の目的 学校運営等について地域住民や保護者から幅広く意見を求め、教育活動の活性化につなげるとともに、地域に開かれた学校づくりを推進することを目的とする。
- 4 会議の開催 平成26年6月18日(水) 13:00~15:00 中濃特別支援学校校長室
 出席者：学校評議員2人(欠席2人、宮本覚道、福島房子)
 学校職員等10人(門屋由美会長の代理として本田利恵副会長が出席)
- 5 会議の概要
- (1) 学校評議員の委嘱
 - (2) 学校長挨拶
 - (3) 自己紹介
 - (4) 授業見学
 - (5) 学校概要および平成26年度の重点について説明
 - (6) 「作業製品の価格設定」について
 - (7) 意見および提言
 - (8) その他
-

6 会議録

- (1) 学校評議員の委嘱
- (2) 校長挨拶

本年度は職員、児童生徒共に昨年より増加し、125名の職員、263名の児童生徒です。県下で2番目という大きな学校ですが、新学期が始まり2ヶ月を経過して軌道に乗ってきました。子ども達の笑顔が学校の活力です。

「こどもかがやきプラン」に基づき、新設や改築される学校があります。当校においては現在狭い環境の中工夫して授業を行っていますが、児童生徒数が減少し教室に余裕がある関特別支援学校の空き教室を活用したり、本館の特別教室を教室に改築するなどして狭隘化を解消することを、県教育委員会の指導をいただきながら進めています。明るい未来を思い描きながら手を携え

て頑張っていきたいと考えています。

(3) 自己紹介

(4) 授業見学 (第5校時)

小学部、中学部、高等部の順で見学を実施

(5) 学校概要および平成26年度の重点について説明

教務主任、小学部主事、中学部主事、高等部主事、生徒指導主事、進路指導主事の順に説明

(6) 「作業製品の価格設定」について (資料：作業学習製品価格・商品名一覧)

学 校 : 作業製品の価格設定については、原材料費をもとに算出し、地域の商店での価格を参考にしている。

意見1 : 価格の設定に問題はない。生徒が一生懸命作った労力から思えば決して高くはない。売上げを生徒達に還元できる工夫はあるのか。

学 校 : 生徒達はたくさんのお客さんが来場され、買っていただけることが励みになっている。

意見2 : 私たちも売れたらよいと思い協力している。売上げが直接生徒達の報酬になることが良いと思うが、それは教育活動になじまない。何か証になるものが生徒に届く方法を工夫して欲しい。たとえばスポーツの優勝盾や賞状のようなものはどうだろうか。

学 校 : 労働と報酬が繋がっているという工夫を考えていきたい。実現可能な提案であり早速取り入れたい。

意見3 : 適正な価格であり、これで良い。

※作業学習製品価格・商品名一覧に基づいて作業製品の価格を承認いただいた。

(7) 意見および提言

意見1 : 小学部から高等部までの授業を見て、子ども達の成長の歩みを見せてもらったように感じる。一人一人に応じた対応がどのように実践されていくのか興味深い。小学部が個別対応の授業が多いのに対して、高等部では一斉の授業に対応できているところに大きな成長を感じる。

個別の指導計画について、職員間でどのように共有しているのか。

学 校 : 保護者と一緒に課題を考え、課題、手だて、成果の流れで取組のベースを作る。そして個々に応じた手法を各学級、グループで話し合い、それを、授業を行う教師間で共有、実践し、さらに検証している。

意見2 : 長寿会と児童との交流会を8年ほど継続している。子ども達の成長が感じられ嬉しく思うと共に先生達の苦勞を感じている。特に貴校の子ども達は挨拶がきちんとできておりとても良いと感じる。

学 校 : 子ども達の成長には保護者の支援が必要であると日頃より思っている。保護者の理解強力をいただいている。

意見3 : 交流会の様子を是非保護者の皆さんにも見ていただきたい。

意見4 : ひまわりの丘第一学園から38名がお世話になっている。学園生活とは一味違った授業態度の良さに感激した。学園でも個別の指導計画を作成しているが、結果ばかりに着目して子どもの気持ちを忘れがちになる。常に見つめ直していきたい。

意見5 : 中学部から高等部への意識の切り替えが難しいのではないか。

学 校 : 高等部入学当初は戸惑うこともあるが、その後の取組で良い姿勢になってくる。

職員の研修においてキャリア教育の視点で行い、共通理解ができていている。部が上がるごとにそれを節目として成長している。また、上級生徒達の日常の姿をあこがれ、目標として後輩生徒たちは学習している。

当校中学部から高等部への進学者はスムーズであるが、他の中学校からの入学者が慣

れるまでに時間がかかることがある。

意見6 : 我が子は就学前の親子教室から参加している。授業参観をして小さい頃の姿が思い出され胸が熱くなった。懇談会でも、先生方がこんなに細かいところまで見ていただけているのかと驚き感謝している。小学部から取り組んでいる山登りが、高等部の立ち作業へと繋がるように、小、中、高等部へとの一貫した教育を感じた。

校長挨拶

貴重なご意見が多くいただきました。皆様に支えられて当校が成り立っていることを大変嬉しく思います。学校評議員は一年間継続するものですので、この一年間気軽にご来校していただき、授業や行事についてご支援ご助言をお願いします。本日はありがとうございました。

なお、学校評議員の皆様のご意見は県教育委員会に報告し、またホームページでも公開しますのでご理解のほどよろしくをお願いします。

(8) 連絡

- ・次回は平成27年1月15日に開催予定
- ・学校行事への参観の依頼

7 会議のまとめ

授業見学、学校概要説明等を通して本校の教育活動をご理解いただけたものと思われる。学校評議員の方からは児童生徒の個性に応じてゆったりとした温かい雰囲気の中で個を大切にしたい取組に対して評価をいただいた。また、作業学習に関する取組に対しても率直なご意見をいただいた。特に、継続して前年度から継続の評議員からは、売上げが生徒に分かる工夫としての賞状等の贈呈というすぐに実現可能な提案がなされた。

大学教授や施設職員の評議員からは個別の指導計画に関連し、職員の共通理解のための工夫点についての質問や、あくまで児童生徒が主役であるべきとのご意見をいただくことができ、中身の濃い充実した会議となった。